

# 2022年10月期（第41期） 決算報告補足資料

～ 景気変動、自然災害、そしてウィルスにも強い会社へ ～

2022年6月13日

株式会社システム デイ

代表取締役社長 藤田 雅己



## 会社概要

証券コード  
3804



(2022年4月30日現在)

社名	株式会社 システム ディ		
代表者	代表取締役社長 藤田 雅己		
創業	1984年8月14日	上場日	2006年4月27日
資本金	4億8426万円		
役員・従業員数	267名（内シク9名）		
事業内容	特定業種向けのパッケージソフトの開発・販売、クラウドサービスの提供		
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、滋賀銀行、京都銀行		
発行済株式数	6,498,000株	株主数	2,499名
資格	ISMS認証（ISO 27001）、プライバシーマーク付与認定		
所在地	本社 : 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る 東京支社 : 〒105-0012 港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル6F 札幌支社 : 〒060-0051 札幌市中央区南1条東6丁目システムディ札幌ビル		
主要顧客	NTT東日本、NTT西日本、NEC、富士通-富士電機、パナソニック、日本事務器、大塚商会、京セラコミュニケーションシステム、大学、フィットネスクラブ、自治体、民間企業 他		
主要仕入先	マイクロソフト、富士通、NEC、ソフトバンク 他		

証券コード  
3804



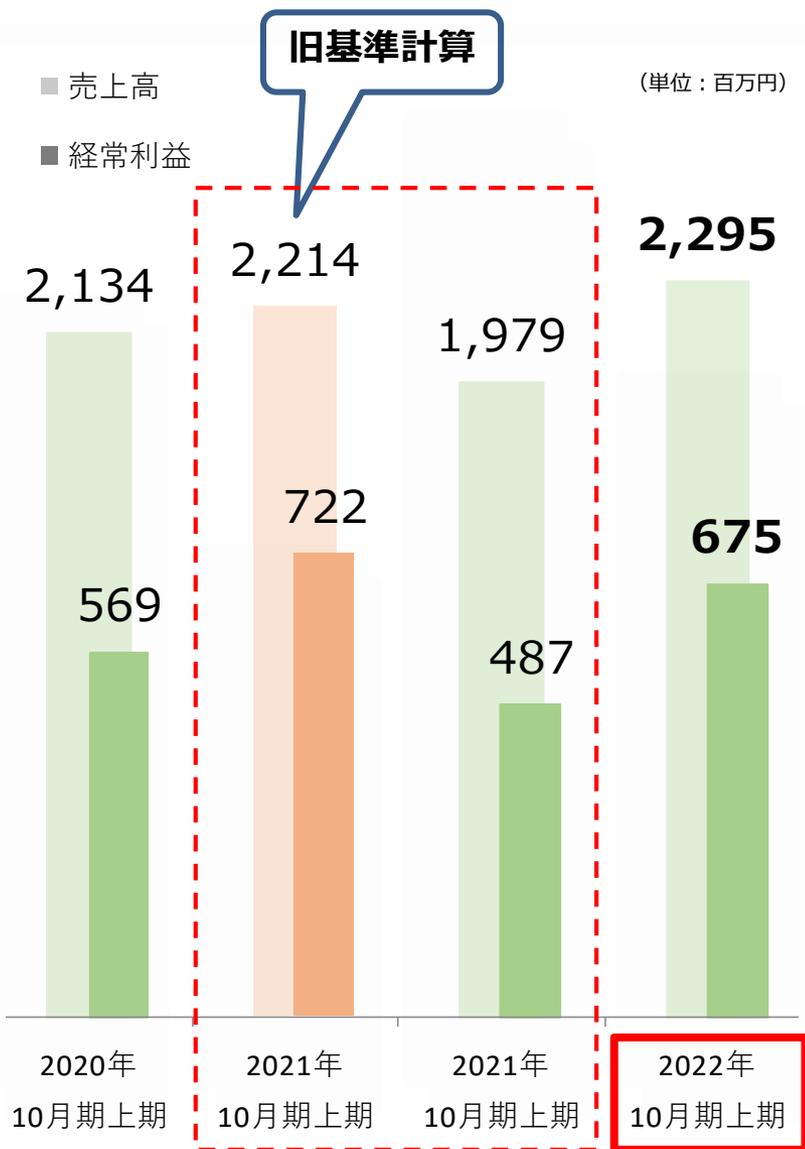
# 2022年10月期第2四半期 決算概要



---

# 2022年10月期（41期）第2四半期 決算の概況

証券コード  
3804



## 売上高 ▶ 計画通り

対予算： △ 51 百万円 (97.8%)

対前年： + 316 百万円 (115.9%)

## 経常利益 ▶ 計画通り

対予算： + 34 百万円 (105.4%)

対前年： + 188 百万円 (138.7%)

第41期計画では、上半期に案件が集中することになっており、上期偏重の予算編成となっていたが、

**概ね計画通り** の実績を上げられた。

## 当初計画比

(単位：百万円)

	2022年10月期 計画値	2022年10月期第2四半期			
		計画値	実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	4,332	2,346	2,295	△ 51	97.8
売上総利益	2,000	1,176	1,145	△ 31	97.3
営業利益	892	641	675	34	105.4
経常利益	892	641	675	34	105.4
当期純利益	584	412	437	25	106.0

## 前年同期比

(単位：百万円)

	2021年10月期 第2四半期実績	2022年10月期第2四半期		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	1,979	2,295	316	115.9
売上総利益	976	1,145	168	117.2
営業利益	487	675	187	138.4
経常利益	487	675	187	138.4
当期純利益	334	437	103	130.8

## 貸借対照表

証券コード  
3804



総資産 4,852 百万円 (前期 4,696 百万円)

純資産 3,425 百万円 (前期 3,099 百万円)

自己資本比率 70.6 % (前期 66.0 %)

優秀な人材の確保、さらなる業績拡大のため、京都本社オフィスの拡張に投資予定。

### 連結会計年度 (2022年4月30日)

借方	貸方
流動資産 2,106 百万円 (前期末比 183百万円増)	流動負債 1,150 百万円 (前期末比 92百万円減)
固定資産 2,745 百万円 (前期末比 27百万円減)	固定負債 276 百万円 (前期末比 78百万円減)
資産合計 4,852 百万円	純資産 3,425 百万円 (前期末比 326百万円増)
	負債純資産合計 4,852 百万円

# ■ キャッシュ・フロー計算書

証券コード  
3804



(単位：百万円)

		2021年10月期 第2四半期累計期間	2022年10月期 第2四半期累計期間
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 394	△ 514
	投資活動によるキャッシュ・フロー	307	211
フリー・キャッシュ・フロー		△ 86	△ 302
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 295	136
現金及び現金同等物の増減額		208	166
現金及び現金同等物の期首残高		1,087	1,135
現金及び現金同等物の期末残高		878	1,301

## ■ 売上高・経常利益の推移

証券コード  
3804



2015年10月期以降、着実に増収増益で推移。2022年10月期2Qは、売上高こそ予定をやや下回ったものの概ね計画通り推移し、経常利益は計画以上に堅実に成長。

(単位：百万円)

通期計画

2Q実績

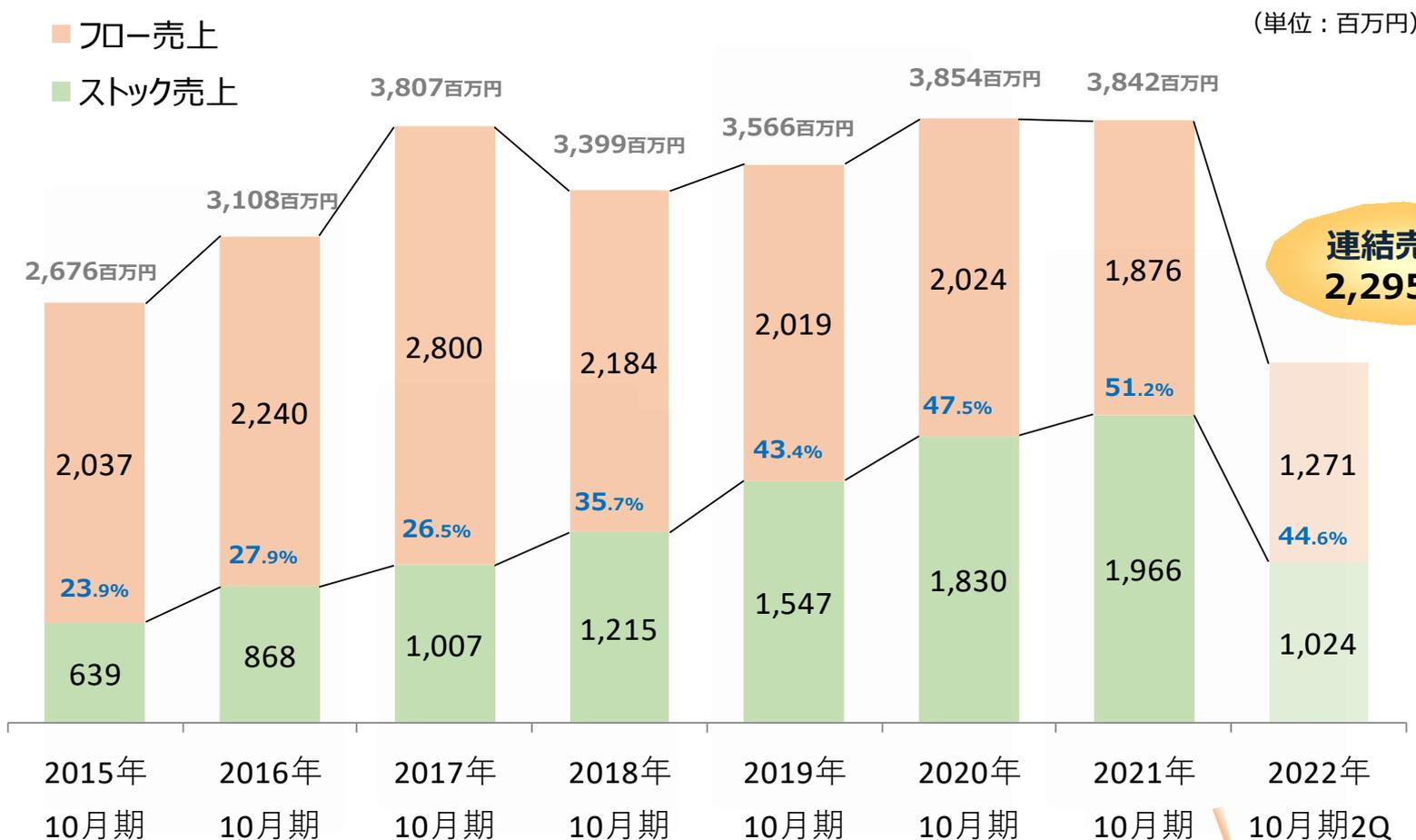


# ■ 売上内訳（フロー／ストック売上）推移

証券コード  
3804



サポート契約&クラウド契約の堅調な増加を背景に、2021年10月期はストック売上高が全売上高の50%を超え、フロー売上高を上回る。

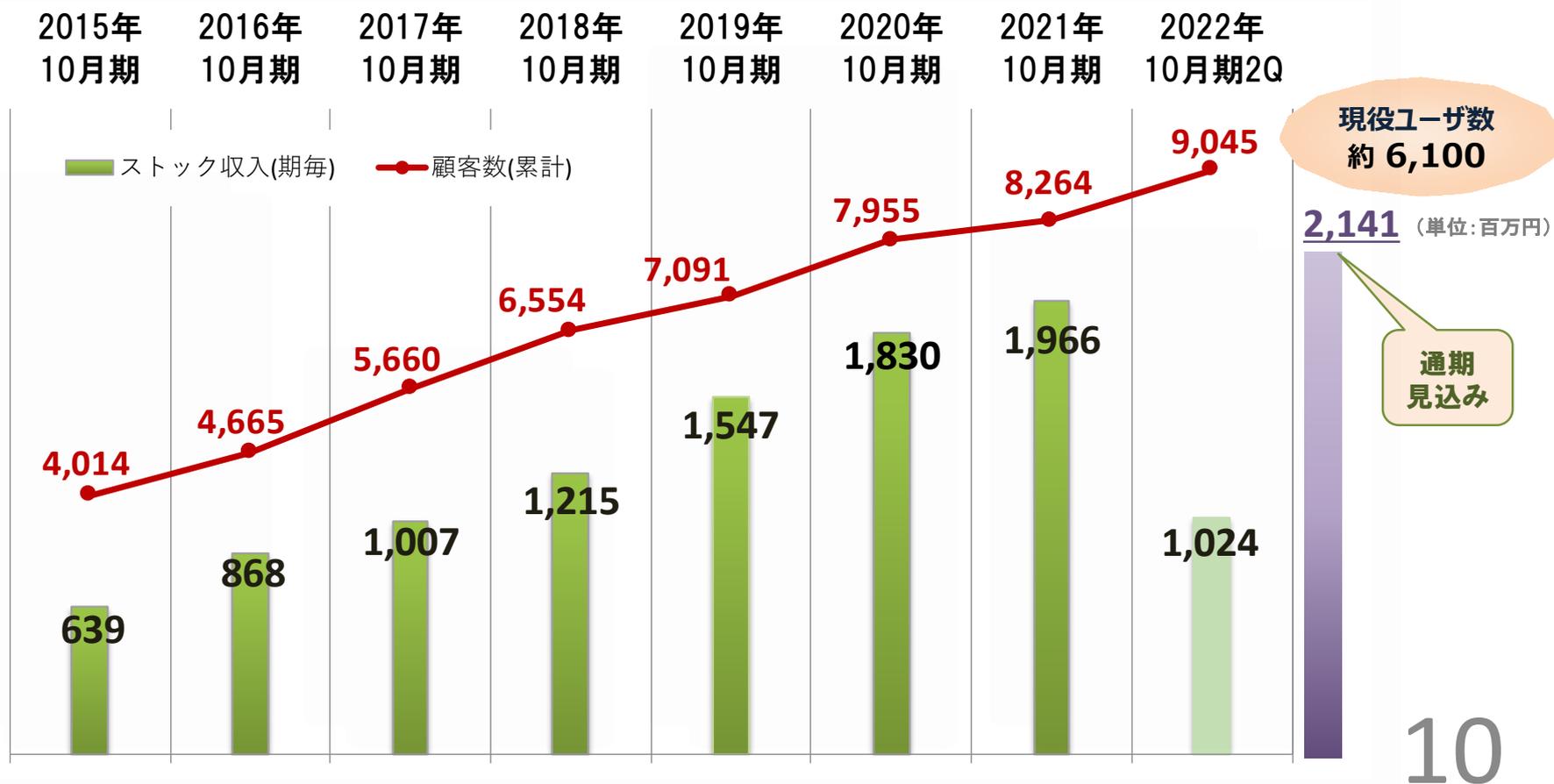


## ■ ストック（ランニング）収益の伸張

証券コード  
3804



ストック収益を構成するサポート契約／クラウド契約の1ユーザ当りの単価は数万円から数千万円まで幅が大きいですが、現役ユーザ様との契約金額の合計は、20億円に迫る売上高となった。2022年10月期においても、着実にストック収益を伸ばしている。



## ■ 収益性・安定性に関する指標の推移

証券コード  
3804



KPIとして特に重視している売上高営業利益率は、コロナ禍の特殊性もあいまって目標としていた20%を超えているが、引き続き今後もこの水準を保てるよう効率の高いビジネスを展開していく。

	2015年 10月期	2016年 10月期	2017年 10月期	2018年 10月期	2019年 10月期	2020年 10月期	2021年 10月期	2022年10月期 2Q 実績
1株当たり 当期純利益 (EPS)	22.4円 (44.8円)	20.6円 (41.3円)	36.7円 (73.5円)	39.8円 (79.6円)	59.0円 (118.0円)	78.7円 (157.4円)	89.3円 (178.7円)	(68.4円)
自己資本 当期純利益率 (ROE)	9.3%	7.9%	12.8%	12.4%	16.2%	18.5%	18.9%	(13.4%)
総資産経常利益率 (ROA)	4.4%	5.0%	9.3%	10.3%	13.5%	16.8%	17.5%	(14.2%)
売上高営業利益率	5.9%	6.2%	9.2%	11.5%	15.0%	18.9%	21.0%	29.4%
自己資本比率	45.2%	46.4%	54.1%	56.9%	61.6%	65.2%	66.0%	70.6%
1株当たり純資産 (BPS)	251.3円 (502.6円)	270.1円 (540.3円)	304.7円 (609.5円)	339.1円 (678.2円)	391.1円 (782.2円)	459.4円 (918.8円)	484.0円 (968.0円)	535.0円 (1,070.0円)

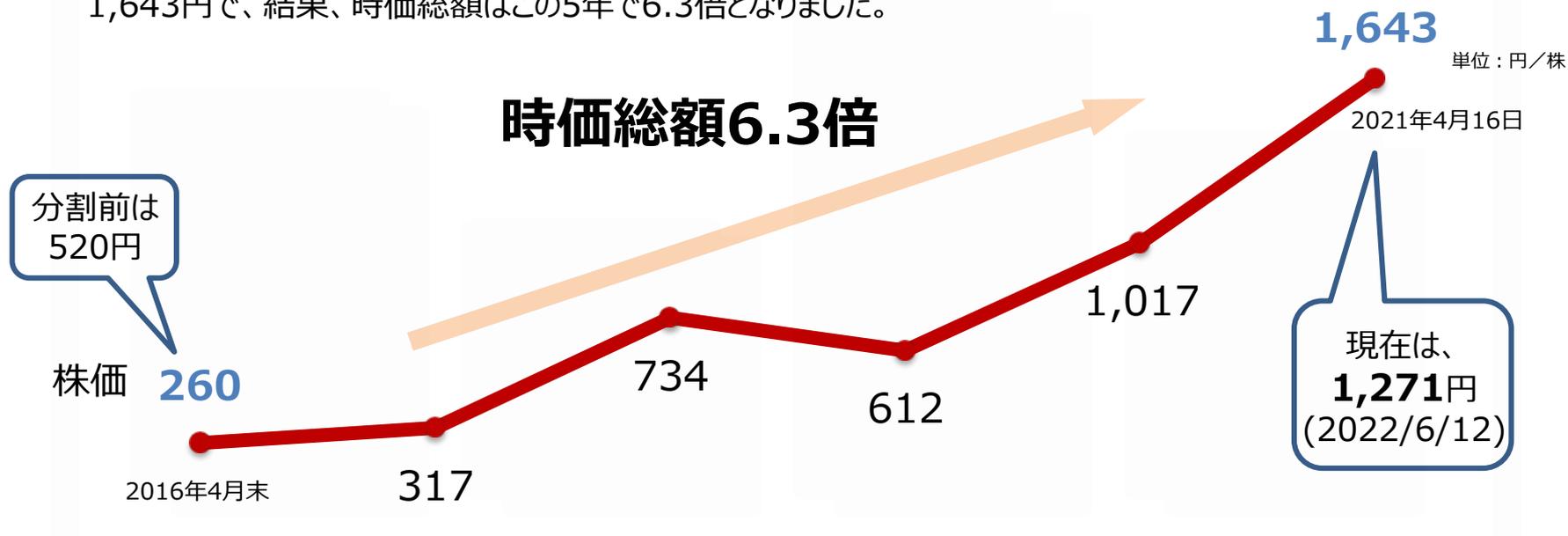
※カッコ内の数字は、株式分割前の値です。

## ■ 株価 & 時価総額

証券コード  
3804



- 2021年5月24日付日本経済新聞の記事『NEXT1000』において、「時価総額の増加率が大きい企業」の一つとして当社が取り上げられました。
- 売上高100億円以下の中堅上場企業を対象に5年前と比べた時価総額の増減率を調べたもので、時価総額の伸びが6.3倍の18位にランキングされました。
- 調査対象となった2016年4月末、及び2021年4月16日の当社の株価は、それぞれ、520円（2分割前）、1,643円で、結果、時価総額はこの5年で6.3倍となりました。



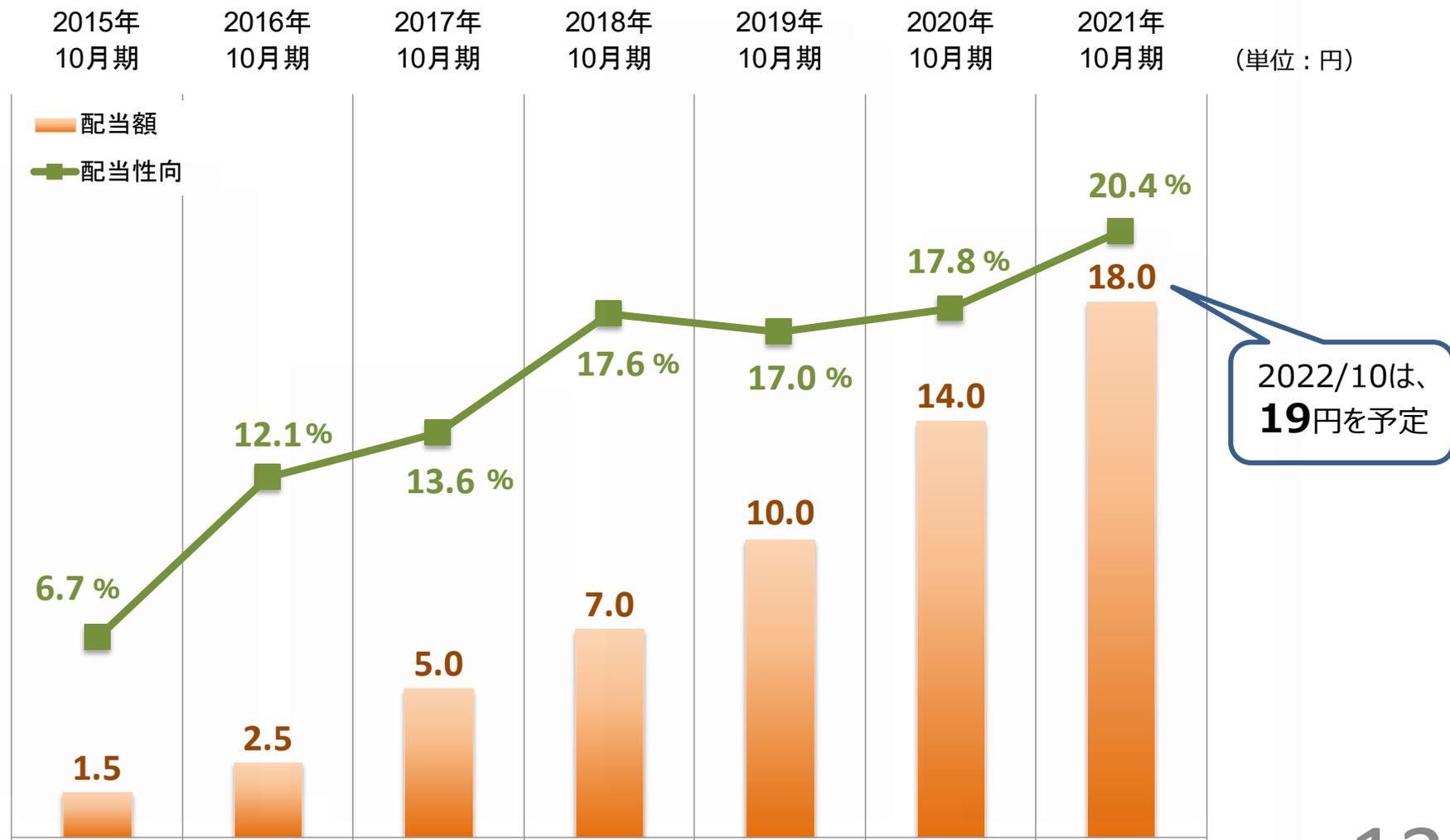
- なお、2022年2月7日付の同記事において、今度は「ROEの5年平均が高い企業」のランキング21位として当社が掲載されました。（5年平均で16.2%）成長著しい企業の一つとして繰り返し紹介されるようになっております。

## ■ 配当額・配当性向の推移

証券コード  
3804



継続的な開発投資等に備えて内部留保しつつ、安定的な配当を維持することを方針としているが、今期は配当性向を20%超に引き上げ、前年比4円増の1株当たり18円を配当。



※ 2018年5月に1 : 2の株式分割を実施しており、配当額は遡って修正しています。

証券コード  
3804



# システム ディのパッケージビジネス

## パッケージソフトによるトータルソリューションの提供

**完全注文生産  
(オーダーメイド)**

注文生産より圧倒的にコストが小さく、  
市販パッケージソフトよりも格段に  
柔軟性が高い。  
定期的なバージョンアップにより、常に  
時代を先取りしたシステムを開発し、  
最新・最善のソリューションを提供。

**市販の  
パッケージソフト  
(レディメイド)**

### **イージーオーダー型 自社開発パッケージソリューション**

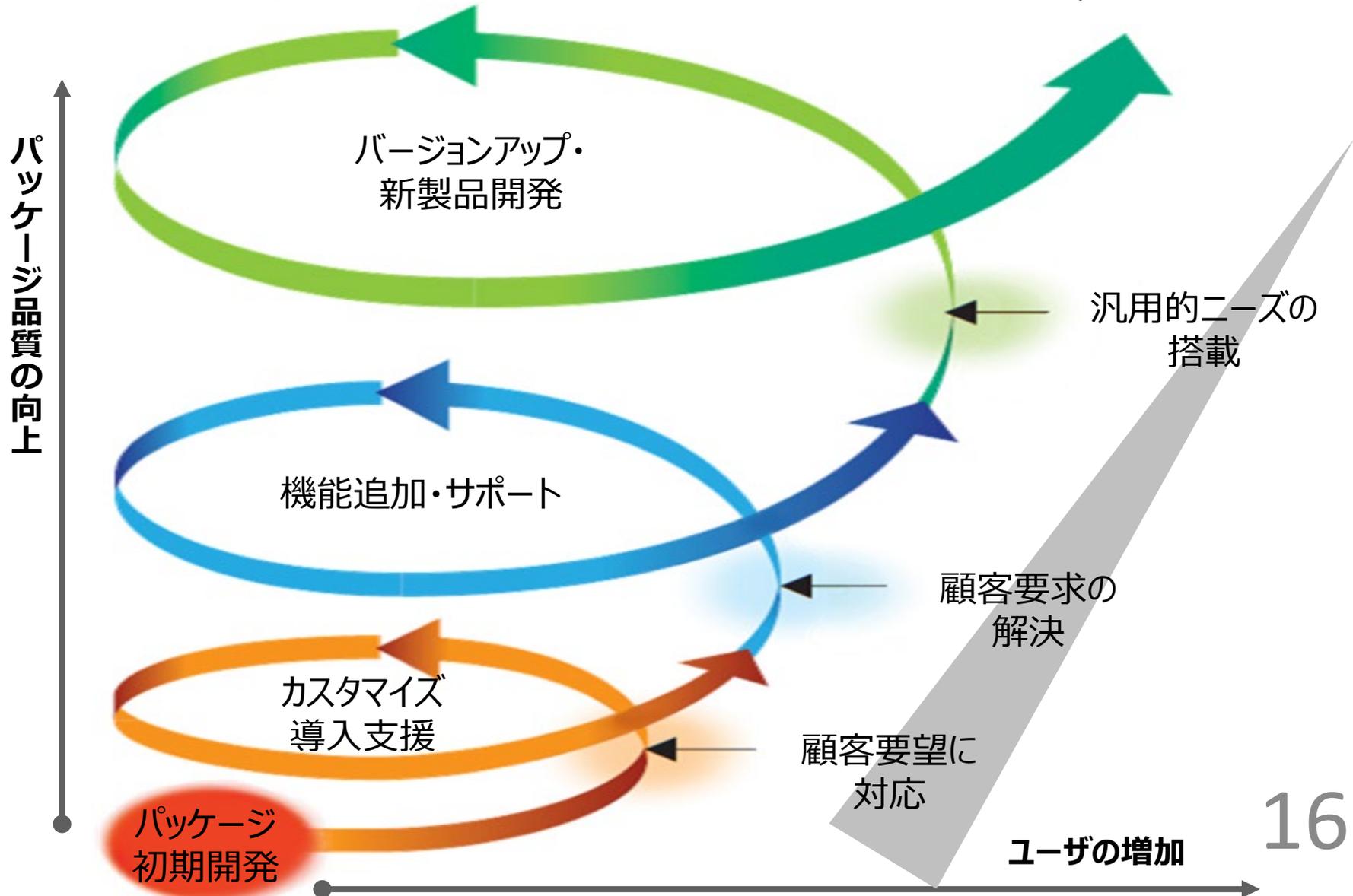
自社開発のパッケージソフトをベースに、顧客の業務上の  
課題を解決し、要求をカスタマイズして、  
提案から導入・保守まで総合的にサポートするサービス

# ■ システム ディのパッケージは進化する

証券コード  
3804



ソフトウェアの品質の向上とユーザーの増加がスパイラルに発展するシステム ディの業種特化パッケージ



## ■ 6つの事業部門

証券コード  
3804



	主要製品・サービス	累計顧客数
学園 ソリューション	『Campus Plan .NETFramework Ver.10』 学園情報総合管理システム 『アンシサイト』 保護者向けBtoBtoCサービス 『Campus Plan Smart』 次世代学園総合情報システム <b>New</b>	1,011
ウェルネス ソリューション	『Hello EX』 フィットネスクラブ・スポーツ施設向け会員管理システム 『すこやかHello』 公共体育施設運営支援システム 『Hello Fun』 アミューズメント施設向け運営管理システム 『Smart Hello』 次世代クラウド型会員管理システム <b>New</b>	1,259
ソフトエンジニア リング	『規程管理システム』『規程管理システム 金融機関版』 『契約書作成・管理システム』 『規程・マニュアル管理システム』	576
公教育 ソリューション	『School Engine』 クラウド型校務支援サービス 校務支援、学校用グループウェア、学校用メール連絡網 『Home Services』 児童生徒に関する成績・出欠・活動情報をリアルタイム に保護者へ提供 <b>New</b>	3,742
公会計 ソリューション	『PPP Ver.5 新統一基準対応版』 地方公会計システム 『PPP クラウド (Azure) 』 クラウド型地方公会計システム 『Common財務会計システム』 地方公共団体向け財務会計システム <b>New</b>	1,228
薬局 ソリューション (株式会社シンク)	『GOHL2』/『OKISS』 調剤薬局向けレセコン 『薬歴情報電子ファイル』 保険薬局向け薬歴情報システム 『GOHL PICKING』 医療品過誤防止システム	1,229

合計 9,045

# ■ 事業部別売上構成

証券コード  
3804



## 41期（第2四半期） 事業部別売上構成

公教育Sの売上が、これまでの屋台骨であった学園Sの売上に迫る勢いとなっている。

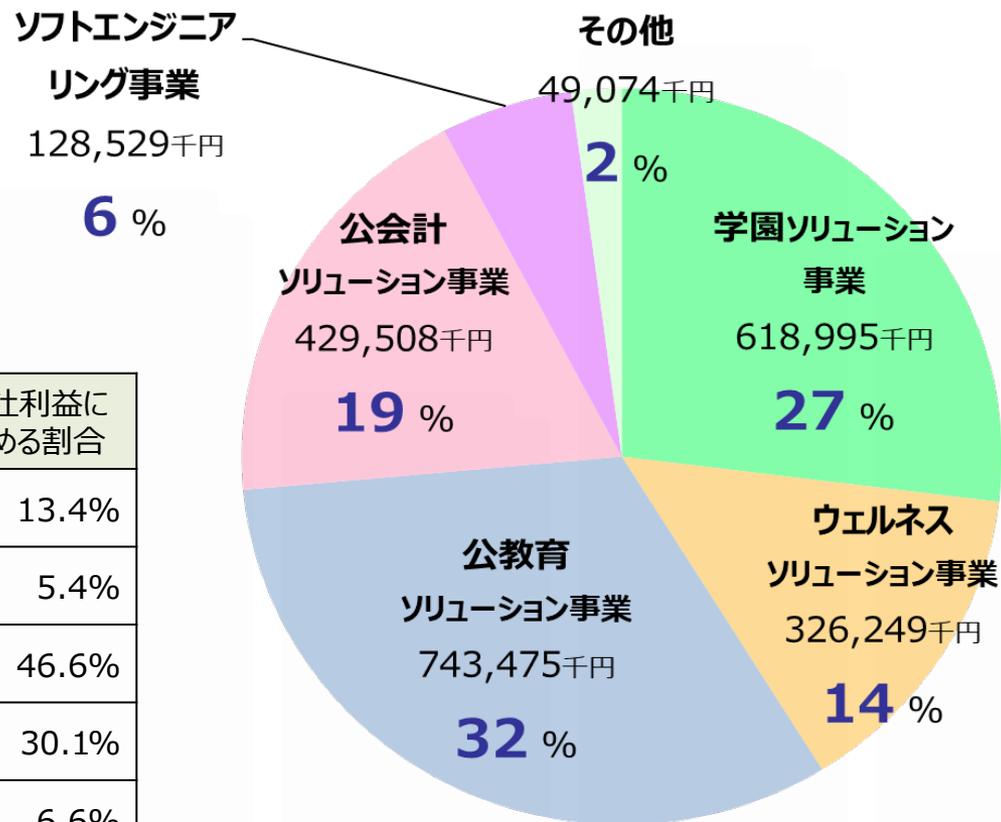
（第2四半期では上回っている。）  
学園Sのトップラインの伸長が課題。

単位：百万円

	売上額	※調整後営業利益	利益率	全社利益に占める割合
学園S	618	90	14.6%	13.4%
ウェルネスS	326	36	11.1%	5.4%
公教育S	743	314	42.3%	46.6%
公会計S	429	203	47.3%	30.1%
ソフトE	128	44	34.9%	6.6%
<b>【連結】</b>	<b>2,295</b>	<b>674</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

※間接経費を人数按分して減算しています。

※シンク、システムディ北海道、テナント収入等



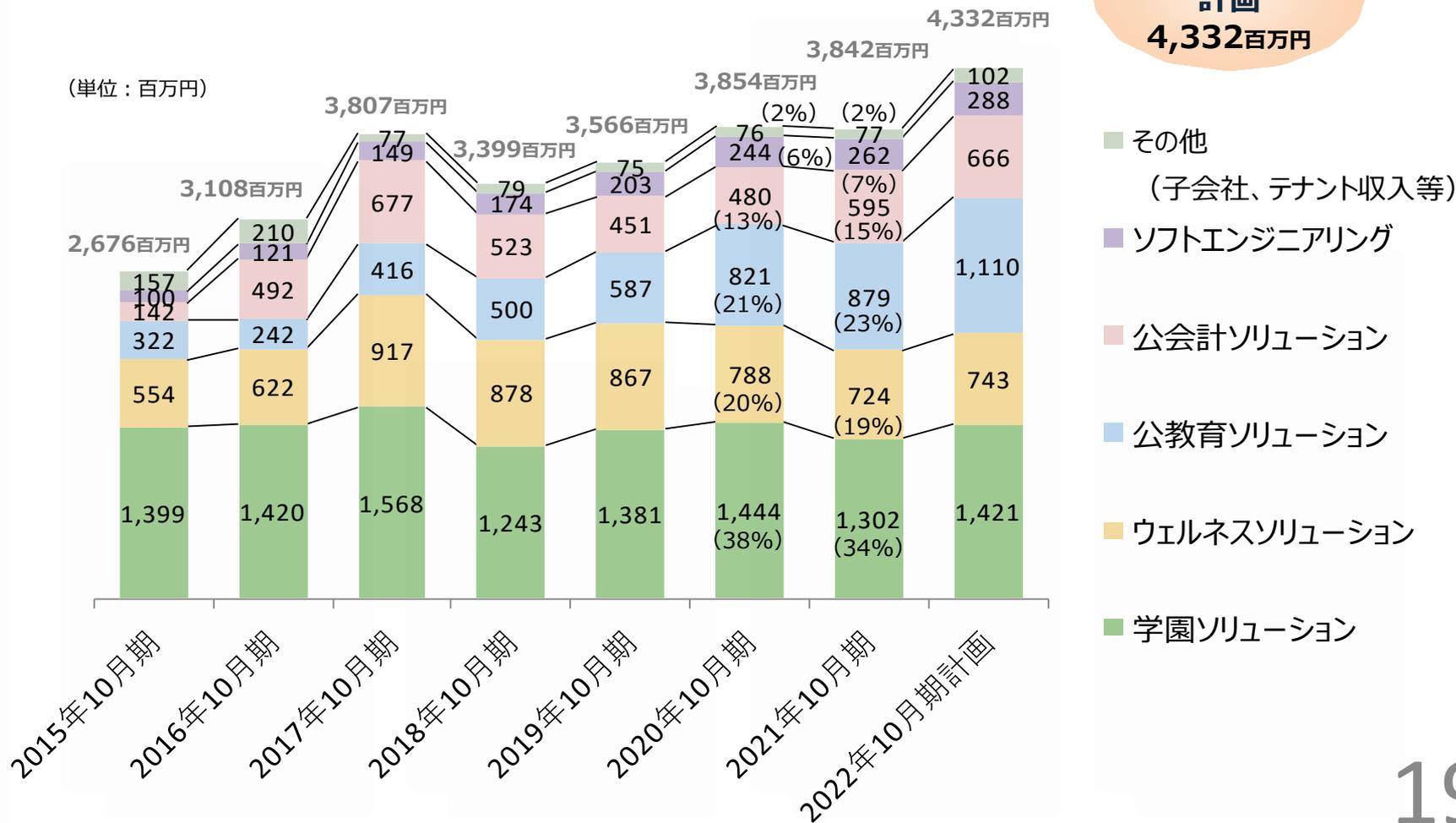
売上総額：2,295,830 千円

# ■ 事業部別売上構成推移

証券コード  
3804



前期は、公教育・公会計・ソフトEが好調で着実に業績を伸ばすが、学園S・ウェルネスSはコロナ禍の影響により減収。2022年10月期は、各事業部がトップラインを10%強伸ばして、全社40億円超えを目指す。



証券コード  
3804



# 2022年10月期の計画

## ■ 2022年10月期計画

証券コード  
3804



※2022年10月期は、不確実な環境の中にあってもトップシェアを維持すべく、攻めの営業で新規ユーザを獲得してさらなるシェア拡大を図る。ストック収益をさらに強固にし、いかなる環境下にあっても業績を着実に伸ばすことのできる「**強靱なシステム デイ**」の事業基盤を構築する。

- 新規パッケージシステムのリリース、拡販等により、さらなるシェアの拡大をはかる。（累計10,000ユーザ）
- その結果、サポート契約・クラウド契約を積み重ね、より強固なストック基盤を構築する。（ストック比率50%）
- ストックビジネスを維持・拡大して、高効率なビジネスを展開する。（売上高営業利益率20%）
- 景気変動にも自然災害にもウィルスにも負けずに、安定的な成長を継続する。（経常利益 年率10%成長）

（単位：百万円）

	2021年10月期 (40期) 実績	2022年10月期 (41期) 第2四半期			2022年10月期 (41期) 計画
		計画	実績	計画比	
売上高	3,842	2,346	2,295	97.8%	4,332
営業利益	808	641	675	105.2%	892
営業利益率	21.0%	27.3%	29.4%	-	20.6%
経常利益	809	641	675	105.2%	892
純利益	573	412	441	107.0%	584

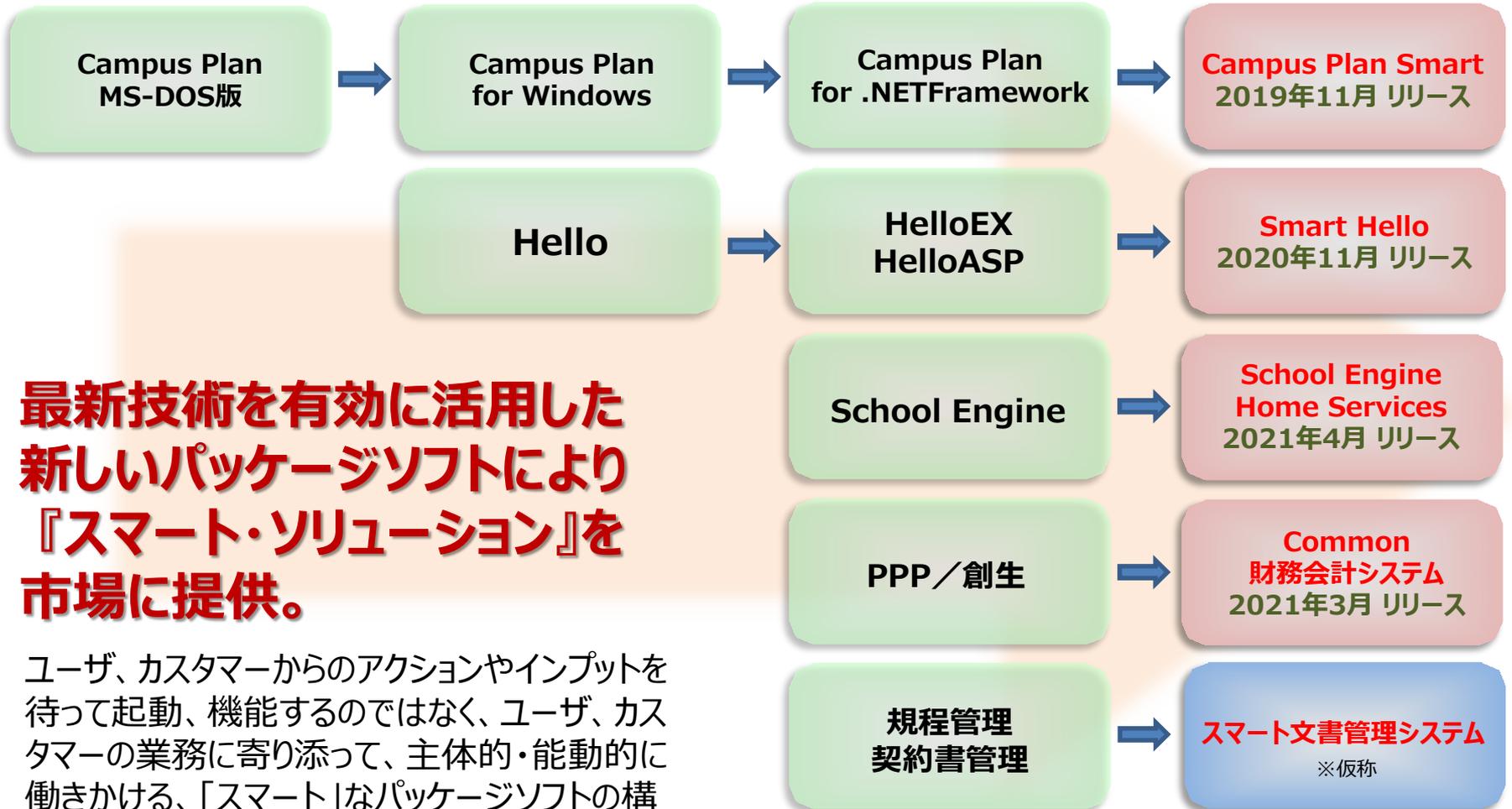
- 売上高営業利益率：20%を目指す。 期末でも維持を目指す
- ストック収益の割合：50%を目指す。 あらためて目指す
- 自己資本比率：60%以上をキープ。 70.6%、本社拡張に投資
- 累計顧客数：10,000件（事業所）を目指す。 まだまだ
- 入社3年後の社員定着率：90%超をキープ。 コロナ禍で課題

# ■ パッケージソフトの進化の方向性『スマート・ソリューション』

証券コード  
3804



## パッケージソフトの進化



**最新技術を有効に活用した  
新しいパッケージソフトにより  
『スマート・ソリューション』を  
市場に提供。**

ユーザ、カスタマーからのアクションやインプットを待って起動、機能するのではなく、ユーザ、カスタマーの業務に寄り添って、主体的・能動的に働きかける、「スマート」なパッケージソフトの構築を目指す。

# ■ 全てのソリューションにおいてクラウドサービスを展開

証券コード  
3804



## 利用者側のメリット

- ◇インターネット経由でシステムを利用するだけ。
- ◇サーバ等の設備・保守、セキュリティ対策は不要。
- ◇月額利用料のランニングコストだけで、インシャルコストを節約。



**School Engine Home Services**  
2021年4月 リリース

**Common財務会計システム**  
2021年3月 リリース

会員・運営管理システム『Hello ASP』

『Campus Plan for Azure』

『規程管理システム  
クラウド・サービス』

公立小中高校向け校務支援サービス  
『School Engine』

**Smart Hello**  
2020年11月 リリース

公会計クラウドシステム  
『PPPクラウド』

**Campus Plan Smart**  
2019年11月 リリース



## サービス提供側のメリット

- ◇一つのサーバ環境で多くのユーザに対してサービス提供が行え、管理コストが大幅に削減。
- ◇システムの更新・メンテナンスは、サーバ内で一括で行うことができ、メンテナンス作業を省力化。
- ◇長く利用いただければ、インシャル一括売上より収益増。

利益率アップ  
ストック収益増

# 景気変動にも、自然災害にも、ウィルスにも負けない 強靱な事業体を築く

売上高営業利益率 **20%**

ストック収益 **50%**

→ 前年比 **10%** アップの成長軌道へ

経常利益

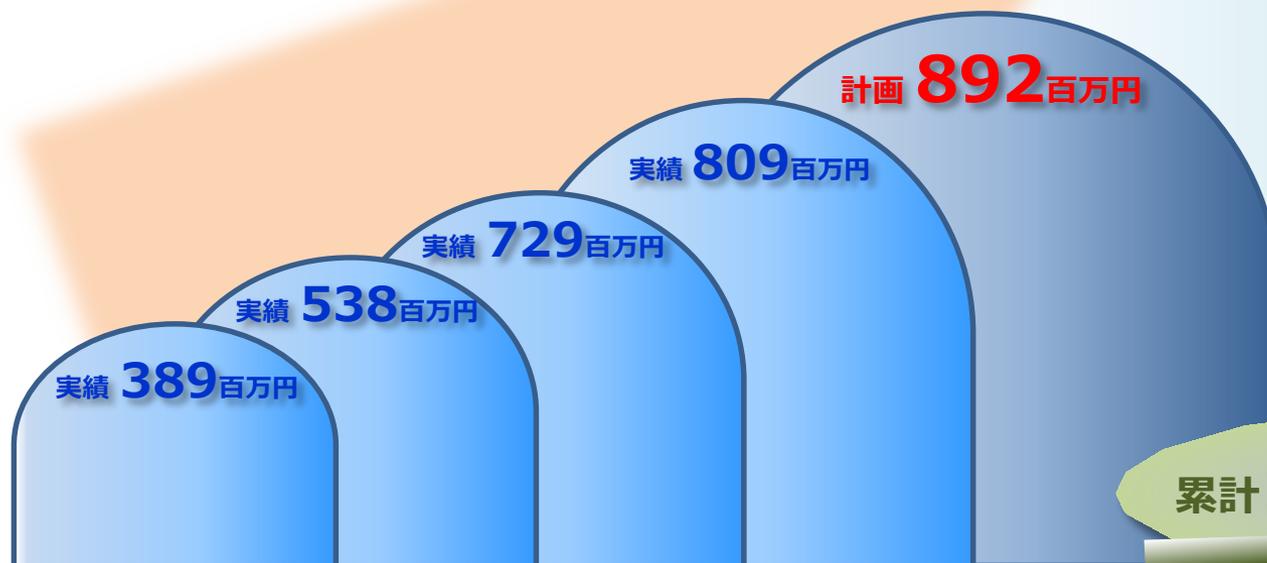
# 10億円企業へ

次世代パッケージソフトのリリース・拡販

新規事業・海外展開

地域創生・公共ビジネス

働きがい改革・生きがい改革



累計**10,000**ユーザ目指して

2018年10月期

2019年10月期

2020年10月期

2021年10月期

20**22**年10月期

今後ともシステム ディを宜しくお願い致します。



株式会社 システム ディ  
代表取締役社長 藤田 雅己

証券コード  
3804



# 巻末資料

# ■ 各事業部の取り組み - 1. 学園ソリューション事業

証券コード  
3804



## 学園運営をトータルに支援する学園情報管理システム『 Campus Plan 』

- 学校業務の全てを網羅したパッケージシステムをラインアップ。
- 少子化対策の一環として、学生・生徒から、保護者、教職員に至るまで、徹底したサービスをクラウドにより提供。
- 大規模大学を獲得しつつ、中小規模学園の経営強化の支援となるサービスを提供し、さらなるシェアの拡大を目指す。



### Campus Plan for .NET Framework / for Azure



◆ 主な導入先  
- 全国**1,011**の学園に導入 -

日本大学、帝京大学、中央大学、上智大学、近畿大学、東京都市大学、流通経済大学、日本女子大学、フェリス学院大学、桃山学院大学、京都文教大学、北星学園大学、埼玉医科大学、関西医科大学、聖路加国際大学、東京医科歯科大学、東京藝術大学、千葉大学、埼玉大学、滋賀医科大学、宮城大学、札幌医科大学、千葉県立保健医療大学、京都コンピュータ学院、文化服装学院、山野理容美容専門学校、富士調理技術専門学校、慶應義塾高校、國學院大學久我山高校、青森山田学園 等



# ■ 各事業部の取り組み - 2. ウェルネスソリューション事業

証券コード  
3804



## スポーツ施設の運営支援システム『Hello EX』 & 文化・観光施設運営支援システム『Hello Fun』

- フィットネスクラブ、公共体育施設、スポーツジム、テニススクール等に『Hello EX』『Hello ASP』『すこやか Hello』を展開。
- 新製品 文化・観光施設の運営支援システム『Hello Fun』をリリース、引き合い多数。

スポーツ施設 運営支援

クラウド型 新システム

Hello EX

New

Smart Hello

Cloud Type Membership Management System

文化・観光施設 運営支援

アンチエイジングサービス

Hello Fun

WeldyCloud

### ◆ 主な導入先

- 全国**1,259**の施設に導入 -

**【民間スポーツ施設】**メガロス（野村不動産ライフ&スポーツ株式会社）、コナミスポーツクラブ、東急スポーツオアシス、トータルワークアウト、アシックススポーツコンプレックス東京ベイ、ダンロップスポーツクラブ、24フィットネスアミーゴ、フィットネスジム Vace1、溶岩ホットヨガスタジオ アミーダ、テニスラウンジ、他

**【自治体・公共団体】**有明スポーツセンター、尼崎市スポーツ振興事業団、京都テルサフィットネスクラブ、郡上市総合スポーツセンター、川崎市民プラザ、他

**【民間企業】**西武園ゆうえんち、庭の湯、明治神宮外苑アイススケート場、DMMかりゆし水族館、太閤園、他

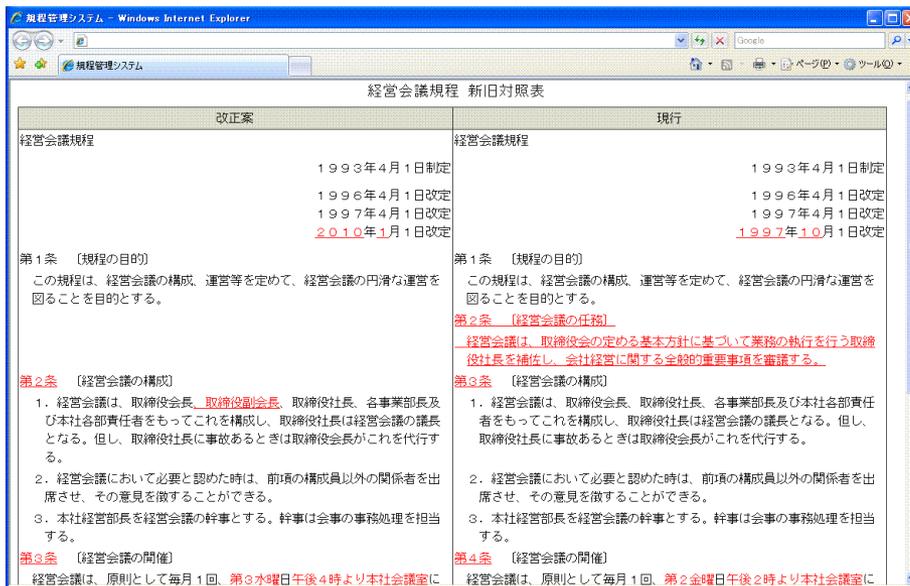


# ■ 各事業部の取り組み - 3. ソフトエンジニアリング事業

民間企業・公益法人・学校法人等の法令遵守、事業防衛、提携促進を支援

- 業務に特化したパッケージシステムを武器に、民間企業、公益法人、学校法人に対してソリューションを展開。
- 業種に特化したサービスの手始めに、金融機関向け規程管理システム・契約書作成・管理システムを開発、営業展開中。

## 規程管理システム / 契約書・作成管理システム



改正案	現行
経営会議規程 1993年4月1日制定 1996年4月1日改定 1997年4月1日改定 <b>2010年1月1日改定</b>	経営会議規程 1993年4月1日制定 1996年4月1日改定 1997年4月1日改定 <b>1997年10月1日改定</b>
<b>第1条</b> 【規程の目的】 この規程は、経営会議の構成、運営等を定めて、経営会議の円滑な運営を図ることを目的とする。	<b>第1条</b> 【規程の目的】 この規程は、経営会議の構成、運営等を定めて、経営会議の円滑な運営を図ることを目的とする。
<b>第2条</b> 【経営会議の構成】 1. 経営会議は、取締役会長、 <b>取締役副会長</b> 、取締役社長、各事業部長及び本社各部署責任者をもってこれを構成し、取締役社長は経営会議の議長となる。但し、取締役社長に事故あるときは取締役会長がこれを代行する。 2. 経営会議において必要と認められた時は、前項の構成員以外の関係者を出席させ、その意見を徴することができる。 3. 本社経営部長を経営会議の幹事とする。幹事は会事の事務処理を担当する。	<b>第2条</b> 【経営会議の任務】 <b>経営会議は、取締役会の定める基本方針に基づいて業務の執行を行う取締役社長を補佐し、会社経営に関する全般の重要事項を審議する。</b> <b>第3条</b> 【経営会議の構成】 1. 経営会議は、取締役会長、取締役社長、各事業部長及び本社各部署責任者をもってこれを構成し、取締役社長は経営会議の議長となる。但し、取締役社長に事故あるときは取締役会長がこれを代行する。 2. 経営会議において必要と認められた時は、前項の構成員以外の関係者を出席させ、その意見を徴することができる。 3. 本社経営部長を経営会議の幹事とする。幹事は会事の事務処理を担当する。
<b>第3条</b> 【経営会議の開催】 経営会議は、原則として毎月1回、 <b>第3水曜日午後4時より本社会議室に</b>	<b>第4条</b> 【経営会議の開催】 経営会議は、原則として毎月1回、 <b>第2金曜日午後2時より本社会議室に</b>

企業・学園・公益法人の**コンプライアンス・コーポレートガバナンス支援製品**で事業展開

『規程管理システム』『契約書作成・管理システム』  
『規程・マニュアル管理システム』 etc.

### ◆ 主な導入先

— 576の民間企業・公益法人に導入 —  
**【学校法人】**立教大学、東京農業大学、法政大学、大阪経済大学、高知県公立大学法人、京都産業大学、明治学院大学、上智学院等

**【民間企業】**日本航空株式会社、TOHO CINEMAS、株式会社エイチ・アイ・エス、中外製薬、三井倉庫ホールディングス、フジモトHD株式会社、株式会社ユーシン精機、株式会社永谷園、はごろもフーズ株式会社、リンガーハット、北陸銀行、北海道銀行 等

**【社団法人・財団法人・公益法人・独立行政法人】**社会医療法人財団 石心会、社会医療法人 生長会・社会福祉法人 悠人会、公益財団法人 日本サッカー協会、JETRO（日本貿易振興機構） 等

# ■ 各事業部の取り組み - 4. 公教育ソリューション事業

証券コード  
3804



## 国公立の小・中・高校向け校務支援システム『School Engine』

- 都道府県（公立高校）に対して圧倒的なシェアを確保し、デファクトスタンダードの地位を確立。
- 全国の市町村立の小・中学校（約30,000校）にクラウド展開。



新サービス『Home Services』  
2021年4月リリース



- 校務支援
- 学校徴収金管理
- グループウェア
- メール連絡網



2014 年度 クラス：6年1組

更新

	校務 太郎077					校務 太郎079					校務 太郎081				
	1学期	2学期	3学期	要録	評定	1学期	2学期	3学期	要録	評定	1学期	2学期	3学期	要録	評定
国語への関心・意欲・態度	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
話す・聞く能力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
書く能力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
読む能力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
言語についての知識・理解・技能	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
書写	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
社会的事象への関心・意欲・態度	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
社会的な思考・判断・表現	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
読解・資料活用技能	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
社会的事象についての知識・理解	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
算数への関心・意欲・態度	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
算学的な考え方	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
数量や図形についての技能	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
数量や図形についての知識・理解	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

第11号様式 調査書

立 立 高等学校 (コース・部・専攻)

志願先 高等学校

科

ふりがな せんとう ななた 性別 男 入学年月 平成 23 年 4 月

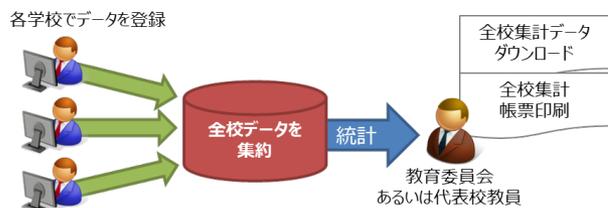
氏名 仙藤 七太 転入学年月 平成 年 月

生年月日 平成 10 年 10 月 25 日生 第 学年 転入学

現住所 〇〇県△△市 □□123番地 卒業年月 平成 26 年 3 月 同 中学校 (卒業見込) 卒業

各教科の学習の記録

教科	観点別学習状況	2年		3年		学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
		評価	評定	評価	評定			
国語	国語への関心・意欲・態度	A				2年	地域にすむ様々な国	工夫を凝らして発表した
	話す・聞く能力	A						
	書く能力	B						
	読む能力	A						
	言語についての知識・理解・技能	A						
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	A				3年	地域にすむ様々な国	工夫を凝らして発表した
	社会的な思考・判断・表現	B						
	読解・資料活用技能	A						
	社会的事象についての知識・理解	A						
	書写	A						
数学	数学への関心・意欲・態度	A				4年	総合所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録
	算学的な考え方	A						
	算学的な技能	A						
	数量や図形などについての知識・理解	A						
	算数への関心・意欲・態度	B						
理科	科学的な思考・表現	A				4年	総合所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録
	読解・実験の技能	A						
	自然事象についての知識・理解	A						
	音楽への関心・意欲・態度	A						
	音楽表現の創造工夫	A						
音楽	音楽への関心・意欲・態度	A				3年	総合所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録
	音楽表現の技能	B						



20県4政令市10中核市をはじめとする  
3,742校に導入

北海道、岩手県、福島県、埼玉  
県、千葉県、石川県、山梨  
県、新潟県、愛知県、静岡県、  
滋賀県、兵庫県、和歌山県、  
広島県、香川県、愛媛県、高  
知県、福岡県、大分県、宮崎  
県

(政令市) 京都市、堺市、  
札幌市、熊本市  
(中核市) 久留米市、奈良  
市、甲府市、姫路市、越谷市  
他

31

# 各事業部の取り組み - 5. 公会計ソリューション事業

## 自治体向け地方公会計システム『PPP(トリプル・ピー)』 & 『Common 財務会計システム』

- 『PPP Ver.5 新統一基準対応版』 競合他社に先駆けて完成。
- 2018年6月には、活用の視点から地方創生を支援する、公会計活用システム『創生』をリリース。
- 1,788自治体、1,544関連公共団体を対象。

## 新サービス『Common 財務会計システム』 2021年3月リリース



自治体会計(現金主義・単式簿記会計)を発生主義・複式簿記に基づいて、公会計財務諸表と固定資産台帳を作成。会計制度の新統一基準に完全対応。

The screenshot displays the 'Fixed Asset Register (Detailed)' window. It includes input fields for asset number, name, and location, and a summary table for asset acquisition and disposal.

取得年度	取得価額	所有割合
期首簿価	552,400	100%
当期取得簿	0	
期末簿価	384,300	

Below the table is a list of 5 items with columns for asset number, fiscal year, acquisition date, and reason.

**16府県7政令市9特別区を含む全国の自治体、関連公共団体、会計事務所等、1,228団体に導入**

秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、新潟県、静岡県、京都府、奈良県、鳥取県、島根県、広島県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県

仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、静岡市、浜松市、岡山市

港区、台東区、墨田区、品川区、目黒区、中野区、杉並区、板橋区、葛飾区

秋田市、越谷市、横須賀市、水戸市、豊田市、甲府市、姫路市、奈良市、高松市 等、28中核市に導入

# ■ 各事業部の取り組み - 6. 薬局ソリューション事業

証券コード  
3804



保険薬局レセコン・POSレジシステムなど多彩なシステムで保険薬局業務を支援

- 『薬歴情報電子ファイル』及び、新商材・医薬品過誤防止システム『GOHL PICKING』による既存ユーザの深耕と、新規ユーザの獲得に向け全国展開。

**New**

## ■ 医薬品過誤防止システム『GOHL PICKING』

レセコンで入力された処方せんデータをもとに、調剤棚よりピッキングした医薬品のバーコードを照合して、医薬品のピッキングミス防止するシステム

No	患者名	医薬品名称	総数量	単位	備考
2	シンク 花子	メトグルコ錠250mg	294	錠	
1	シンク 太郎	エコア錠50mg	98	錠	
		アダラートGR錠20mg	49	錠	
		クレストールOD錠2.5mg	49	錠	
		ディオバン錠80mg	49	錠	
		ルセフィ錠2.5mg	49	錠	
		ライゾデグ配合注フレックスタッチ	7	キット	
		ロキソニンテープ50mg	10	枚	



## ■ 薬局向けレセコン『GOHL2』／『OKISS』

「簡単な操作性」と「安価に導入いただけるシステム」をテーマに開発したレセコンシステム



## ■ 保険薬局向け薬歴情報システム『薬歴情報電子ファイル』

わかりやすく簡単に使える、電子薬歴ガイドラインの基準を満たした電子薬歴システム

